

近畿地方整備局と日本下水道事業団との災害支援の連携に関する覚書締結式

平成26年8月の豪雨の災害では、近畿地方整備局によりリエゾンとして下水道担当官を福知山市役所に派遣、応急復旧、簡易処理下水の公共用水域への放流等について、京都府、福知山河川国道事務所、日本下水道事業団と連携し、福知山市に対して下水道に関する支援を行いました。今回の福知山市の支援をモデルケースに下水道施設の災害支援に関する活動体制を検討し、全国で初めて覚書を締結しました。

○締結式

日 時：平成 27年 5月 29日(金) 16:40 ~16:50

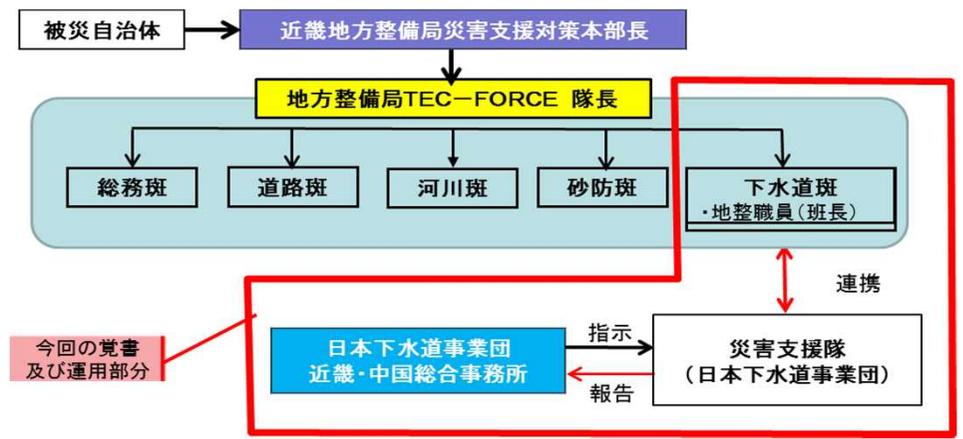
場 所：近畿地方整備局 新館3階A会議

出席者：近畿地方整備局 森局長、小俣企画部長、
植田建政部長
日本下水道事業団 谷戸理事長、
細川近畿・中国総合事務所長

取 材：時事通信社、水道産業新聞社、日本下水道新聞社、
日刊建設工業新聞社、建通新聞社、日刊建設通信新聞社
建設産業新聞社、日刊建設新聞社

○覚書の内容

近畿地方整備局と日本下水道事業団が、連絡を密にし、情報共有を図り、下水道施設の被災直後の支援が円滑に行えるよう連携、協力を行うもの。



覚書記名



記名後 記念撮影



出席者 記念撮影